

社協ワーカーだより

No. 44 平成28年5月

地域のみなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー（職員）の動きや社協の事業について情報発信するお便りです！！

発行：福岡市社会福祉協議会地域福祉課（Tel720-5356）
各区社会福祉協議会

熊本地震 ～ 一日も早い復興に向けて ～

平成28年4月14日に発生した熊本地震では、甚大な被害が発生し、熊本県全市町村に災害救助法が適用されました。被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

福岡市社協では、熊本地震における被災者・被災地の日も早い復興を願い、下記のような取り組みを行っています。

◎災害ボランティアセンター立ち上げ・運営支援

熊本地震における被災者・被災地の日も早い復興を願い、被災地域における「災害ボランティアセンター」の立ち上げとその運営の支援を目的として、福岡市社会福祉協議会では、職員を現地に派遣しています。

この職員派遣は、九州8県及び3つの政令指定都市社会福祉協議会の管内において災害が発生し、被災した地域の社会福祉協議会だけでは災害救援活動が十分に実施できないと判断された場合に、あらかじめ締結している協定に基づき、応援職員を派遣するというものです。

今回、福岡市社協では、4月21日（木）から2名ずつの職員を交代で被災地に派遣しています。



【問い合わせ】福岡市社会福祉協議会総務課（Tel：751-1121）

◎義援金の募集（共同募金）

被災された方たちへのお見舞いのために、義援金募集を行っています。寄せられた義援金は、熊本県共同募金会を通じて被災された方々へお届けします。4月22日（金）には、天神で多くの学生ボランティアの協力も得て街頭募金を実施し、多くの募金が寄せられました。

募集期間は、平成28年4月15日（金）～平成28年6月30日（木）となっています。詳細は、福岡市社会福祉協議会や福岡県共同募金会のホームページ等でご確認ください。皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。



【問い合わせ】福岡県共同募金会福岡市支会（Tel：720-5350）

◎災害ボランティア講座の実施

被災地にボランティア活動に行くことを考えておられる市民の方々に、現地の情報提供と、ボランティアとして活動するにあたり気を付けた方がよいことなど心構えや準備についてお伝えすることを目的として、ゴールデンウィークを目前にした4月26日と28日に、福岡市NPO・ボランティア交流センターとの共催で、災害ボランティア講座「熊本地震 災害ボランティア活動に向けて」を開催しました。2日間で400名を超える方々にご参加いただきました。

その他、活動についての相談には随時対応し、情報提供を行っています。

【問い合わせ】福岡市ボランティアセンター（Tel：713-0777）

今回の熊本地震における被災者の支援については、社協以外にも多くの方々が様々な活動を始められています。情報収集・提供をはじめ、社協としてできる限りのことに今後も取り組んでいきたいと考えています。

マンション管理組合・住民ボランティアの“ご近助力”

～生活課題が山積みの高齢者を応援した事例～

「安否確認できない独居高齢男性 A さんが心配だ」と、マンション管理組合から区社協へ相談がありました。職員が訪問すると、多くの生活課題があり、介護認定が必要と思われたため、いきいきセンターにも相談しました。入浴や食事、洗濯を自分ですることができず、認知症も疑われ、また、居室には期限切れの黒ずんだ食材や古紙が山積みでした。さらに異臭とゴキブリが大量発生し衛生状態も悪く、近隣から苦情も出ていました。本人に必要な介護サービスを利用するにも、まず居室の大掛かりな片付け・清掃が必要でした。

居室のゴミの中には、Aさんの亡くなった妻との思い出の品々なども混ざっている状態でした。Aさんの同意を得ながら、区社協職員、いきいきセンター、管理組合、住民ボランティアグループが3日かかりで仕分けし、片付けると、Aさんはとても喜ばれました。しかし、まだ異臭や床や壁の汚れがひどかったため、業者に依頼して清掃した結果、写真(右)のようにきれいになり、介護サービスの導入を進めることになりました。

周囲からはゴミにみえても、本人にとっては宝物…。応援者は、Aさん自身が“その気になるように”寄り添い、繰り返し励まし、時には厳しいことも伝えながら、本人の気持ちを大切にしてくださいました。最初の相談から介護サービスの導入に至るまでに、6か月の期間を要しましたが、Aさんの認知症の問題などについては、医療や介護の専門職による公的サービスだけでなく、今後も息の長い地域の応援が求められます。社協も、地域の方々と一緒にAさんを見守り続けたいと考えています。



清掃前



清掃後

今月の 気 (KEY) になる!! キーワード

「災害ボランティアセンター」



災害時の被災者支援ボランティア活動は、今や不可欠なものとして広く認識されてきています。

災害ボランティアセンターは、災害発生時に、行政や社協等が協力し、被災者・被災地支援のために活動するボランティア活動を、効果的・効率的に行うための「災害復興支援に特化した臨時のボランティアセンター」として立ち上げるものです。福岡市では、平成17年3月の「福岡県西方沖地震」発生時に設置され、市社協が中心となって運営を行い、市域にわたる活動調整を行いました。

災害ボランティアセンターでは、庶務班（市災害対策本部との連絡調整、災害ボラセンの全体統括）、広報・情報班（情報発信、マスコミ対応、各種問い合わせ対応）、ボランティア受付班（ボランティアの受付、登録、保険加入事務等）、ニーズ受付班（被災者のニーズ把握）、マッチング班（マッチング、オリエンテーションの実施等）、資材・送迎班（必要物品の受け渡し、活動場所までの送迎等）などに分かれて対応を行います。

災害の種類（地震、津波、風水害、土砂災害）、地勢（都市部、山間部、沿岸部）、市町村の面積・人口など、その特性に応じたセンターが開設されます。

住民のニーズにもとづき、それぞれのペースでの自立に向けた支援を行い、一定の期間を経た後は、平常時のセンターの態勢に移行していき、災害ボランティアセンターは閉所となります。

「買物支援ガイドブック」をご活用ください!

東区社会福祉協議会では、民生委員児童委員の方々のご協力を得て、食料品や日用品等の配達などによる支援を行っている商店の情報をまとめた「東区買物支援ガイドブック」を作成しております。ガイドブックには食料品やお弁当、日用品など、全部で86店舗の情報を掲載しており、下記のホームページで閲覧やダウンロードが可能で、区社協窓口でも配付しています。ぜひご活用ください。

○福岡市東区社会福祉協議会

URL : <http://www.syakyo-higashiku.net/>

電話 : 643-8922 FAX : 643-8923